

祝 辞

陽光桜の蕾が膨らみ春風に水仙の花がゆれるころ、松山東雲女子大学、松山東雲短期大学をご卒業される皆さん、おめでとうございます。

これまで皆さんを見守ってこられたご家族をはじめ教職員の皆様、心よりお慶び申し上げます。松山東雲学園同窓会を代表いたしましてお祝い申し上げます。

私たちの母校は一八八六年、四国で最初の女学校としてキリスト教教育に基づいた女子教育を行う、学校として創立されました。建学の精神は、「信仰・希望・愛」であらわされ、創立一三五年を迎えた今日もその精神が受け継がれていることに感謝申し上げます。

特色ある本学で学ばれた皆さんは、授業やチャペル・アワーなどの学生生活を通して、それぞれ専門分野の知識や技能を身に付け、一人一人がそれぞれにふさわしい仕方で人に出会い、貴重な体験をし、多くのことを学ばれたと思います。苦勞したことや悩んだこともあったでしょう。その過程には、ともに喜び、励まし合った周りの方々の存在があったことと思います。今、振り返ると新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、思い通りの学生生活ではなかったという残念な思いや経験もあつたのではないのでしょうか。このことからの学びは、忘れられない貴重な体験として、これからの人生に活かしていただきたいと思います。本学で学んだ誇りをもって新しい世界へ歩み出して下さい。

二〇二二年も社会全体が見通しの立たない制限の多い生活が続いていくように思います。会いたい人に会えなかったり、計画していることが実施できなくなったり、オンラインでの会議に参加したり、様々な伝達方法によって人間関係をどのように創り上げていくかを考えていかなければなりません。新型コロナウイルス感染症拡大防止のために働いてくださっている方々に感謝しつつ、再び人と人が顔を合わせ、触れ合い、心置きなく対話ができるよう希望を失わず待っていきましょう。

それと同時にIT機器などを用いて、どのような新しい社会の仕組みを創っていけばよいのか、本学で学んだ自由さの中から育まれた想像力を大切にしながら考えていただきたいと思えます。そして、まさかの時をそれぞれの場で切り拓いてほしいと願います。

また、今日は、たくさんの思い出と、共に過ごした友達や手を差し伸べてくださった先生方とお別れし、新しい場所へと出発する日です。皆さんお一人お一人の自分の道を歩んでいかれますよう、これからも一日一日、健康に気をつけて過ごして下さい。

松山東雲学園同窓会は、卒業された皆さんを同窓会会員としてお迎えいたします。年に一回、会報誌「雪びら」を発行し郵送します。お手元に届きますよう住所に変更がありましたら、お知らせください。今年度も中止となりましたが、次年度には「お山のバザー」や「クリスマスの集い」を実施したり、「大学祭」や「ホームカミングデー」に参加したりできるようにと願っています。「手芸を楽しむ会」「賛美歌の集い」「みつばサークル(童謡)」など、会員の親睦と母校の発展に寄与することを目的として、共に取り組んでいきましょう。同窓会から卒業記念品を贈らせていただきます。

最後に、卒業生の皆様お一人お一人に神さまの恵みが豊かにありますようお祈り申し上げまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

二〇二二年三月一日

松山東雲学園同窓会

会長 菅田栄子